

帰国生 進学ガイダンス

Max Kohei Seki

まず一言

受験は厳しい

そして、君たちに問う

1

1点突破できるだけの英語力を持っているか

2

英語に頼らなくてもよい
他教科の力をしっかり持っているか

帰国生、留学経験者の君たちへ

真実

大学はいま君たちのことを欲しがっている
大学受験はいま君たちに有利なようにできている

ただし...

優秀な帰国生や留学経験者は他にもいる
一般生の努力は本当にすごい



有利な土俵を活かせ
有利な土俵がしっかり活かせるように過信をせずに努力しろ

素質や特性だけで勝負できるほど受験は甘くない

HONORSに求められる受験意識

英語に自信を持て、英語を過信するな

- ① 英語を何よりも最大限伸ばす
- ② 受験生として英語の勉強をしっかりとやる
- ③ 他教科でもう1つ武器を作れ
 - ・文系は国語、理系は数学
- ④ まずは一般受験を照準にあてる
- ⑤ 広い選択肢を有利に使う
- ⑥ 英語外部試験をうまく使う

グローバルという熱力学

スーパーグローバル大学

トップ型 13大学



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



筑波大学
University of Tsukuba



TMDU
東京医科歯科大学



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



広島大学



九州大学



慶應義塾大学



早稲田大学

グローバル化牽引型 24大学



千葉大学
Chiba University



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

東京藝術大学



長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology



金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY



国立大学法人
豊橋技術科学大学



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY



国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



熊本大学
Kumamoto University



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

会津大学

ICU
国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY



芝浦工業大学



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY



東洋大学



法政大学
HOSEI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY



創価大学



立命館大学



国際大学
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF JAPAN



関西学院大学
KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

APU

Shape your world
立命館アジア太平洋大学

大学は今、こう変わる



WASEDA University
早稲田大学

Applicants
受験生 [P](#)

Alumni
卒業生 [P](#)

Parents
ご父母

MyWaseda
在学生・教職員 [P](#)

Visitors
一般・企業

寄付
アクセス
データ集
検索
Lang

Since 1882

WASEDA University

Waseda Vision 150 – Best Education, Best Research, Best Community

[Headlines](#) [Topics](#)

News
ニュース

About Waseda
早稲田大学について

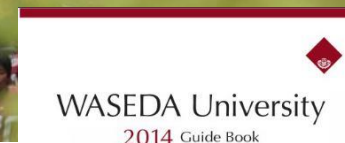
Academics
学部・大学院・図書館

Campus Life
早稲田の学生

Research
研究活動

Culture
早稲田文化

f t YouTube in



早稲田からWASEDAへ 大きく羽ばたく人になろう

グローバル化が進む社会の中で、広く日本や世界に貢献し、
次代を担う人材が求められています。
早稲田大学には、数多くの素晴らしい人材を輩出してきた輝かしい歴史があり、
現在はグローバルリーダーの育成に力を注いでいます。
世界を視野に入れ、新たな早稲田の伝統を創造していくのは、
これから入学してくるあなたたちです。



大学は今、こう変わる

外国人留学生

8% → 19%

留学経験者

6% → 27%

語学力

31% → 88%

TOEFL等の入試活用

4% → 40%

シラバスの英語化

10% → 25%

外国人・外国学位教員

4% → 40%

外国人・外国学位職員

8% → 15%

教育システムの改革

学生の多様性

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
外国人留学生	4,415人 (8.4%)	9,165人 (19.2%)
留学経験者	3,076人 (6.3%)	10,650人 (27.6%)
語学力(外国語力基準を 満たす学生)	16,693人 (31.6%)	42,141人 (88.3%)

※外国人留学生・語学力一斉調査(1月時点)、留学経験者一斉調査(10月時点)

- ・海外大学との連携による英語学位プログラム拡充
- ・留学生向け日本語の学位プログラムの拡充
- ・クォーター制を活用した留学生受け入れ、海外派遣
- ・海外派遣を促進する派遣プログラムの拡充
- ・チュートリアル・イングリッシュの高度化
- ・アカデミック・ライティングの徹底的指導
- ・幅広い視野を持った人材を育成する、全学副専攻・副学位制度
- ・学部生1割減、大学院生2割増

入試の国際性

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
TOEFL等外部試験の活用	395人 (4.4%)	3,580人 (40.0%)
奨学金許可の入学時伝達	1,552人 (39.9%)	3,250人 (75.7%)

- ・英語能力主要4技能の正確な測定のため、TOEFL等を全学部導入
- ・学内奨学金制度の入学許可時伝達型へのシフト
- ・途上国対象の渡日前「奨学金給付型AO入試」実施
- ・国際バカロレア資格取得者の出願・受入増、アドミッション・オフィサーの育成
- ・世界各地域から志願者をバランスよく確保
- ・日本語の予備教育プログラムの開発
- ・入試開発オフィスにおける抜本的な入試改革の推進

国際開放性

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
シラバスの英語化	2,656科目 (10.4%)	5,398科目 (25.0%)

- ・Waseda Vision 150の数値目標・達成度のWeb公開
- ・MOOCsなどを利用してすべての授業を公開
- ・教育情報の公表100%実施
- ・ネイティブスタッフによる多言語情報発信
- ・教育プログラムの開発での海外校友会活用

ガバナンスの改革

教職員の多様性

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
外国人・外国で学位(教員)	760人 (45.3%)	1,380人 (75.0%)
外国人・外国で学位(職員)	93人 (8.3%)	173人 (15.4%)
女性(教員)	245人 (14.6%)	402人 (21.8%)
女性(職員)	381人 (33.9%)	401人 (35.6%)
年俸制(教員)	99人 (5.9%)	791人 (43.0%)
事務職員高度化	175人 (15.6%)	325人 (28.9%)

- ・研究者ネットワークとの連携による優秀な教員・研究員の獲得
- ・ワシントン大学と連携したFDの開発・実施
- ・Waseda Vision150男女共同参画基本計画を着実に実行
- ・平成29年度を目途に専任教員の年俸制導入を検討
- ・スタッフディベロップメント(SD)の充実

教育の国際性

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
外国語の授業	2,439科目 (12.7%)	4,129科目 (25.0%)
外国語のみで卒業	50コース(32.9%) 12,661人(5.0%)	64コース(38.6%) 14,480人(9.4%)
コースナンバリング	907科目 (3.6%)	21,590科目 (100%)

- ・グローバルエデュケーションセンターを中心とした科目の外国語化推進
- ・コースナンバリングの100%早期導入
- ・クォーター制を活用した留学促進
- ・英語学位取得コースの定員数・実施学部の増加
- ・学修ポートフォリオシステムによる個々の学修効果の把握
- ・国際社会で活躍する人材育成プロジェクト(QTEM)の充実
- ・早期卒業・入学、5年一貫制課程・留学プログラムを織込んだ「グローバル・オナーズプログラム」の提供

学生支援

	《H25年度実績》	《H35年度目標》
混在型学生宿舎(外国人留学生)	549人 (49.5%)	3,000人 (83.6%)
混在型学生宿舎(日本人学生)	989人 (2.0%)	1,422人 (3.7%)

- ・提携寮等を活用した学生寮の計画的展開
- ・ラーニングコモンズ拡充
- ・質の高い教育補助(TAo)の拡充
- ・スチューデントジョブ創出による15,000人雇用
- ・奨学金拡充、奨学金付入試・教育プログラム
- ・海外拠点における派遣学生への支援機能の強化
- ・インターンシップ・企業体験プログラム開発・提供によるキャリア支援

ガバナンスの適切性

- ・Waseda Vision150のガバナンス改革のさらなる加速
- ・組織における責任と権限の一致
- ・教職員評価制度と給与体系の改革
- ・副総長の規程化、理事会・評議員会・教学関連会議の関係整理と仕組みづくり
- ・理事会への学外・女性・外国人有識者の参画
- ・意思決定を支援するためのIR機能の強化・充実
- ・国際ファンドレイジング機能強化

外国語での授業

13% → 25%

外国語のみで卒業

5% → 9%

外国人留学生の寮

50% → 84%

早稲田大学

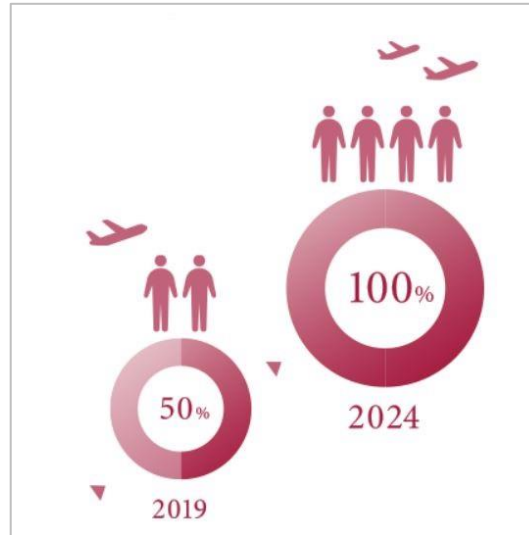
SGU構想調書 P6

(数字はH25、H35比較)

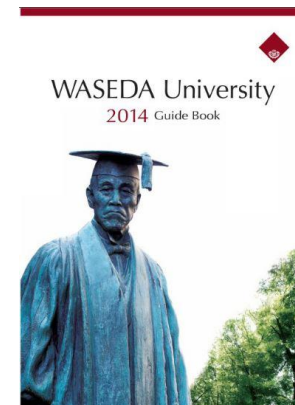
大学は今、こう変わる

留学事業の促進

意欲と能力のある高校・大学等の若者全員に、学位取得等のための留学機会を与える



2032年度までに、卒業までに全ての日本人学生が外国へ留学等をする



熱を冷まして考えても、やっぱり留学は今後の重要な課題であることは変わらない

外部試験はどんなものがあるか

SGU公募の目標設定

3 (2) ①TOEFL等外部試験の学部入試への活用									
	平成25年度 (通年)		平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)		平成35年度 (通年)		
対象学部入学定員数 (A)		人		人		人		人	
全入学定員数 (B)		人		人		人		人	
割合 (A/B)	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	

どのぐらいの数値だと思いますか

SGU 外部英語試験の目標設定

トップ型	H25	H28	H31	H35		H25	H28	H31	H35
北海道大学	2%	3%	5%	5%	豊橋技術科学大学	0%	0%	85%	85%
東北大学	3%	3%	4%	5%	京都工芸繊維大学	10%	14%	17%	21%
筑波大学	29%	31%	100%	100%	奈良先端科学技術大学院大学	—	—	—	—
東京大学	1%	5%	7%	8%	岡山大学	0%	0%	19%	100%
東京医科歯科大学	2%	2%	3%	5%	熊本大学	0%	6%	100%	100%
東京工業大学	0%	0%	2%	3%	国際教養大学	89%	89%	90%	90%
名古屋大学	3%	5%	6%	8%	会津大学	0%	5%	8%	10%
京都大学	1%	2%	2%	2%	国際基督教大学	24%	26%	27%	27%
大阪大学	2%	3%	10%	10%	芝浦工業大学	0%	12%	25%	50%
広島大学	0%	94%	100%	100%	上智大学	25%	43%	50%	57%
九州大学	1%	1%	16%	16%	東洋大学	8%	10%	12%	15%
慶應義塾大学	9%	11%	11%	11%	法政大学	13%	16%	16%	28%
早稲田大学	4%	10%	22%	40%	明治大学	0%	2%	7%	12%
グローバル化率引型					立教大学	1%	10%	50%	50%
千葉大学	8%	8%	10%	10%	創価大学	24%	46%	46%	46%
東京外国語大学	0%	9%	9%	9%	国際大学	100%	100%	100%	100%
東京藝術大学	2%	2%	80%	100%	立命館大学	18%	23%	61%	70%
長岡技術科学大学	0%	4%	30%	100%	関西学院大学	5%	5%	5%	6%
金沢大学	0%	2%	8%	8%	立命館アジア太平洋大学	73%	88%	100%	100%

データは各大学SGU構想調書より: 30%以上は黄色

SGU 外国語での授業の目標設定

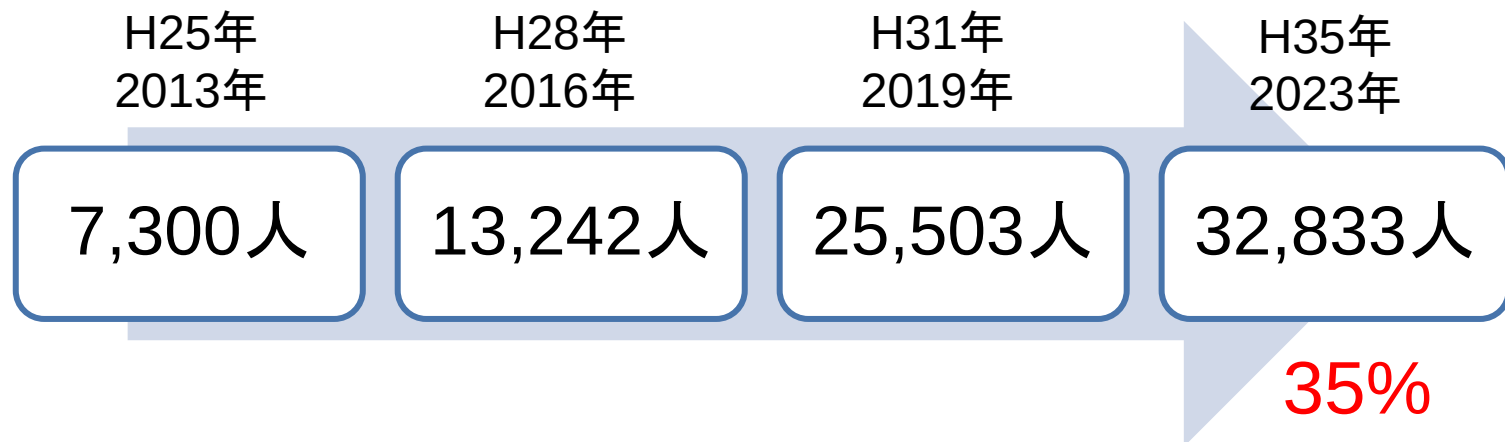
トップ型	H25	H28	H31	H35		H25	H28	H31	H35
北海道大学	3%	5%	9%	12%	豊橋技術科学大学	0%	8%	56%	92%
東北大学	5%	5%	7%	7%	京都工芸繊維大学	1%	1%	2%	3%
筑波大学	8%	8%	9%	10%	奈良先端科学技術大学院大学	—	—	—	—
東京大学	4%	6%	8%	11%	岡山大学	1%	2%	8%	18%
東京医科歯科大学	2%	2%	3%	4%	熊本大学	1%	4%	6%	10%
東京工業大学	3%	4%	5%	10%	国際教養大学	100%	100%	100%	100%
名古屋大学	7%	9%	9%	10%	会津大学	18%	39%	45%	50%
京都大学	4%	8%	20%	30%	国際基督教大学	15%	24%	32%	40%
大阪大学	2%	3%	4%	5%	芝浦工業大学	0%	6%	17%	34%
広島大学	2%	4%	9%	23%	上智大学	14%	16%	18%	21%
九州大学	6%	9%	20%	25%	東洋大学	2%	10%	11%	21%
慶應義塾大学	4%	5%	6%	8%	法政大学	7%	9%	10%	12%
早稲田大学	9%	11%	13%	25%	明治大学	1%	2%	3%	4%
グローバル化率引型					立教大学	4%	7%	10%	20%
千葉大学	1%	4%	11%	20%	創価大学	3%	7%	9%	13%
東京外国語大学	7%	9%	13%	14%	国際大学	—	—	—	—
東京藝術大学	0%	3%	5%	10%	立命館大学	4%	5%	8%	10%
長岡技術科学大学	0%	5%	20%	30%	関西学院大学	4%	5%	6%	8%
金沢大学	2%	7%	25%	50%	立命館アジア太平洋大学	45%	45%	48%	50%

データは各大学SGU構想調書より(学部の数字を使用): 20%以上は黄色

SGU 外部英語試験の目標設定

これからの大学事情はこうなる？

外部英語試験の入学者枠



外国語での学部授業 平均%



どのように受験するのか

受験形態

8月
～
11月

指定校推薦

公募制推薦

AO入試
自己推薦

帰国生入試

1・2月

一般入試

書類

英語資格

英語試験

課題

ライティング

面接

小論文

センター試験

個別試験

君たちに有利なものはどれか

自分の強みを把握する

日本語での面接

書類、日本語でのエッセイ

日本語での小論文

一般入試の英語

英文の日本語要約

他教科のテスト

どの入試を選ぶべきか

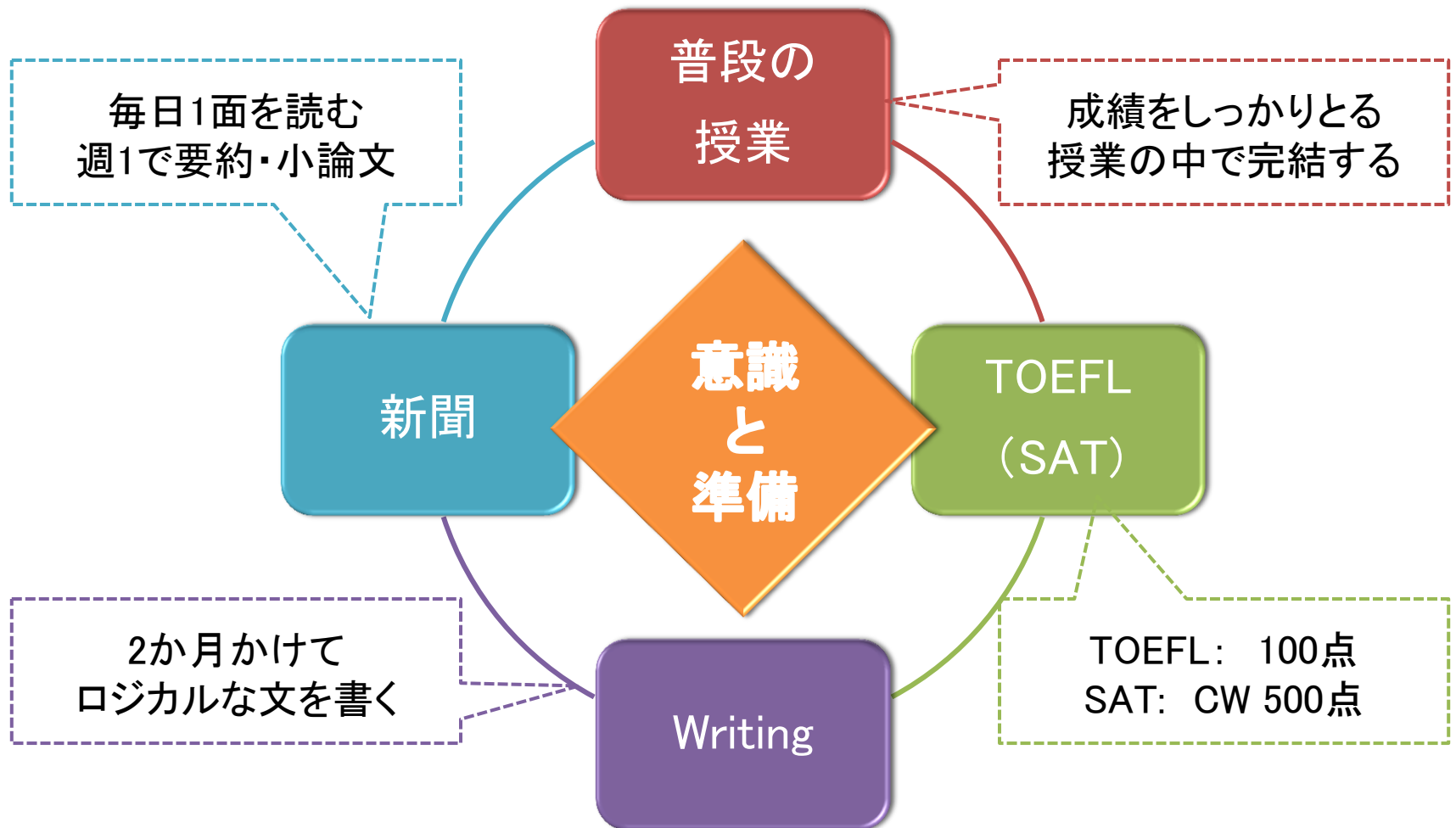
特別入試を選ぶべきか

前提

- MARCH以上のAOは難関、早慶にもなると準備が大変
 - 帰国生にとっては、帰国生入試、AO、推薦入試は受かりやすい
 - 枠が非常に少ない、大きな枠を持っている学校が限られている
-
- 特性や英語力を活かせる入試があれば積極的に考える
 - 一般受験の生徒は安易に手を出さない
 - TOEFL100点をとれ
 - 3～4校受けて1つの合格を取る
 - 一般入試の準備を怠らない
 - 2回の受験ピークを作れ！



重点となる取り組み



特別入試の例



早稲田大学

- ・ 国際教養大学 AO: TOEFLなど、エッセイ、筆記
- ・ 政治経済 グローバル入試:
- ・ 帰国生入試: TOEFLなど、書類、(面接、小論文)



慶應義塾大学

- ・ 帰国生入試: TOEFLなど、面接、参考小論文
- ・ SFC AO入試: 英語資格、志望理由書、面接



上智大学 SOPHIA UNIVERSITY

- ・ 帰国生入試 TOEFLなど、学科試問(主に小論文型)、面接
- ・ 推薦入試: TOEFLなど、自己推薦文、筆記
- ・ 国際教養学部(FLA): TOEFLなど、SAT、エッセイ、推薦状

ICU

国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY

- ・ 一般入試 B方式: TOEFLなど、ALTAS、面接
- ・ AO入試 Aカテゴリー: TOEFLなど、面接
- ・ ユニバーサル入試: TOEFLなど、小論文、面接

特別入試の例



青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

- ・ 海外就学者経験者入試： TOEFLなど、小論、面接



立教大学

RIKKYO UNIVERSITY

- ・ 異文化コミュ 国際コース： TOEFLなど、小論、面接
- ・ 帰国生入試： TOEFLなど、小論



公立大学法人

国際教養大学

Akita International University

- ・ AO： TOEFLなど、英語小論文、面接



学習院大学

GAKUSHUIN UNIVERSITY

- ・ 国際社会 AO： TOEFLなど、英語による論文、面接など

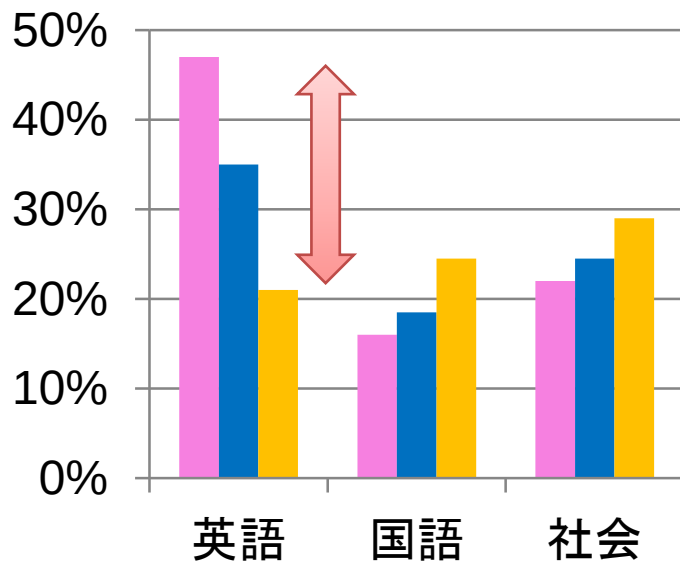
他にもまだまだある

一般入試

入試における英語の位置づけ

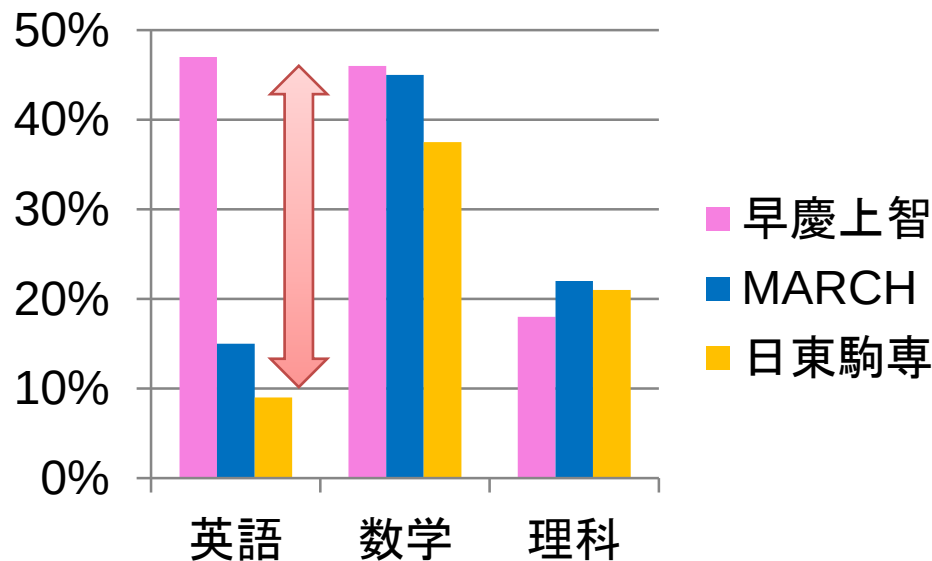
合格者の得意教科

文系 得意科目



英語ができなきゃ落ちる

理系 得意科目



英語ができれば超有利

入試における英語の位置づけ

英語が受験のキになりうるのか

文系

… 英語が全体の3分の1以下になることはない

【文系： 英語の配点が高い受験】 ⇒ 英語ができることが絶対条件

【文系： 英語の配点が低い受験】 ⇒ それでも英語を中心に得点を稼げ

	英語	国語	地歴など	英語率
上智大学 文学部英文	200	100	100	50%
明治大学 法	150	100	100	43%
立教大学 コミュニティー福祉	200	200	100	40%
早稲田大学 教育 【理系】	50	50	50	33%

理系

… 英語が全体の3分の1以上になることはない ⇒ 英語 かつ 数学！！

	英語	数学	理科など	英語率
慶應大学 理工	150	150	200	30%
立教大学 理	100	100	100	33%

英語受験における重点

単語、熟語

- Target 1900 → More 880

文法演習

- Next Stage → 早慶上智文法問題

長文演習

- MAX長文ログ → 過去問

過去問演習

- MARCH → 早慶上智

Writing

- 2か月かけてトレーニング

READINGの語彙レベル

センター(2011年) 大問6 (590 words)

	U/N	1	2	3	4	5	6	7	8	9～	合計
単語数	8	132	33	25	8	5	5	1	2	3	222
%	4%	59%	15%	11%	4%	2%	2%	0.5%	1%	1%	---

* U/Nは4分の1を知らない語と設定
(cannot, Americanなども含まれる)

90%

95%

注目ポイント

- ① 590語の長文
実際は222語しか使われていない
- ② 90% = 200語 : 4000語レベル
95% = 211語 : 6000語レベル

頻度別に見てみると

be (31回)、the(26回)、and(25回)
of(25回)、to(25回)、a(14回)



READINGの語彙レベル

駒沢大学・グローバル 2011年 (578 words)

	U/N	1	2	3	4	5	6	7	8	9～	合計
単語数	12	124	39	20	18	7	1	0	0	0	221
%	5%	56%	18%	9%	8%	3%	0.5%	0%	0%	0%	---

青山学院大学・総合文化政策 2011年 (1301 words)

	U/N	1	2	3	4	5	6	7	8	9～	合計
単語数	27	158	78	43	28	14	6	6	5	11	376
%	7%	42%	21%	11%	7%	4%	2%	2%	1%	3%	---

早稲田大学・法 2011年 (1151 words)

	U/N	1	2	3	4	5	6	7	8	9～	合計
単語数	37	206	91	59	35	19	12	8	11	18	496
%	7%	42%	18%	12%	7%	4%	2%	2%	2%	4%	---

Time紙 (752 words)

	U/N	1	2	3	4	5	6	7	8	9～	合計
単語数	41	152	43	24	19	9	4	7	4	15	318
%	13%	48%	14%	8%	6%	3%	1%	2%	1%	5%	---

学習アドバイス： 単語

読解の復習で単語を覚えろ！

リーディングの一番のカベは単語だ
→ リーディングが単語学習の素材として重要

2006年 青山学院大学 法学部

【1】 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

There was a time when Americans thought they understood class. The upper class vacationed in Europe and worshipped an Episcopal God. The middle class drove Ford Fairlane, settled the San Fernando Valley and enlisted as company men. The working class belonged to unions, voted Democratic and did not take Caribbean cruises.

Today, America has gone a long way toward an appearance of classlessness. Americans of all sorts are roughly luxuries that would have dangled their grandparents. Social diversity has erased many of the old markers. It has become harder to read people's status in the clothes they wear, the cars they drive, the votes they cast, the god they worship, the color of their skin. The division of class have blurred; some say they have disappeared.

But class is still a powerful force in American life. Over the past three decades, it has come to play a greater, not lesser, role in important ways. At a time when education matters more than ever, success in school remains linked tightly to class. At a time when the country is increasingly integrated racially, the rich are isolating themselves more and more. At a time of extraordinary advances in medicine, class differences in health and life span are wide and appear to be widening.

And new research on mobility, the movement of families up and down the economic ladder, shows there is far less of it than economists once thought and less than most people believe. In fact, mobility, which once energized the working lives of Americans as it rose in the decades after World War II, has lately flattened out or possibly even declined, many researchers say.

Mobility is the promise that lies at the heart of the American dream. It is supposed to take the rich out of the widening gulfbetween the haves and have-nots. There are poor and rich in the United States, of course, the argument goes, but as long as there is something close to equality of opportunity, the differences between them do not add up to class barriers.

Even as mobility seems to have plagued, the ranks of the elite are opening. Today, anyone may have a chance of becoming a justice of the U.S. Supreme Court or a corporate chief executive and there are more and more self-made billionaires. So it appears that while it is easier for a few high achievers to scale the summits of wealth, for many others it has become harder to move up from one economic class to another. Americans are arguably more likely than they were 50 years ago to end up in the class into which they were born.

Merit has replaced the old system of inherited privilege, but merit is at least partly class-based. Parents with money, education and connections cultivate in their children the habits (which the meritocracy rewards. When their children then succeed, that success is seen as earned.

"The old system of hereditary barriers and subtle barriers has pretty much vanished," said

01-1

Dr. Eric Wanner, president of the Russell Sage Foundation, a social science research group in New York City. Wanner recently published a series of studies on the social effects of economic inequality. In place of the old system, Wanner said, have arisen "new ways of transmitting advantage. Class are beginning to assert themselves."

Most Americans remain upbeat about their prospects for getting ahead. A recent New York Times poll on class found that 40 percent of Americans believed that the chance of moving up from one class to another had risen over the last 50 years, a period in which the new research shows that it has not. Thirty-five percent said it had not changed, and only 25 percent said it had dropped.

A few sociologists say that social complexity has made the concept of class meaningless. Conventional big classes have become so diverse—in income, lifestyle, political views—that they have ceased to be classes at all, said Paul Kingston, a professor of sociology at the University of Virginia.

To him, American society is a "ladder with lots and lots of rungs."

"There is not one decisive break saying that the people below this all have this common experience," Kingston said. "Each step is equalized. Sure, for the people higher up this ladder, their kids are more apt to get more education, better health insurance. But that doesn't mean there are classes."

Other researchers have made similar arguments and arguably they are not in agreement.

One surprising finding about mobility is that it is not higher in the United States than in Britain, France, Canada and some Scandinavian countries, but not as low as in developing countries like Brazil, where escape from poverty is so difficult that the lower class is all but frozen in place.

The United States is different from Europe in ways that can slow down the mobility machine. Because income inequality is greater in the United States, there is a wider gap between what rich and poor parents can invest in their children. Perhaps as a result, a child's economic background is a better predictor of school performance in the United States than in Denmark, the Netherlands or France, one recent study found.

"Being born in the elite in the U.S. gives you a monopolization of privileges that very few people in the world have ever experienced," said Professor David Levine, a Berkeley economist and mobility researcher. "Being born poor in the U.S. gives you disadvantages unlike anything in Western Europe and Japan and Canada."

So why does it appear that class is fading as a force in American life?

For one thing, it is harder to read appearance in possessions. Picture-taking cell phones and other luxuries are now affordable to almost everyone. Overregulation has done the same for plane tickets and long-distance phone calls.

Like consumption patterns, class disparities in politics have become blurred. In the 1960s, professionals were liberal. Republicans today they lean Democratic. Meanwhile, skilled labor has gone from being heavily Democratic to almost evenly split.

01-2

Religious affiliation is no longer the reliable class marker it once was. The growing economic power of the South has helped lift evangelical Christians into the middle and upper middle classes.

The once-tight connection between race and class has weakened. As a result, as many African-Americans have moved into the middle and upper middle classes. Diversity of all sorts—racial, ethnic and gender—has complicated the class picture. And high rates of immigration and immigrant success stories seem to blur even more the point. The rules of advancement have changed.

Below all that lies, some of the same forces have deepened the hidden divisions of class. Globalization and technological change have shuttered factories, killing jobs that were once stepping-stones to the middle class. Manual labor can be done in developing countries for \$2 a day, skills and education have become more essential than ever. This has helped produce the extraordinary jumps in income inequality.

Clearly, a degree from a four-year college makes even more difference than it once did. More people are getting those degrees than did 40 years ago, but class still plays a big role in determining whether class or does not. At 250 of the most selective colleges, the proportion of students from upper-income families has grown, not shrunk.

Class differences in health, too, are widening, recent research shows. Life expectancy has increased overall but upper-middle-class Americans live longer and in better health than those at the bottom.

The benefits of the new meritocracy do come at a price. It once seemed that people worked hard and got rich in order to relax, but a new class marker in upper-income families is having at least one parent who works extremely long hours. In 1975, one study found, the highest-paid tenth of the country worked fewer hours than the bottom tenth. Today, those at the top work more.

(2006年 青山学院大学 法学部)

一般生の英語学習量

この意識に負けるな

普段の授業

- 7冊教科書 + ゼロ限速読



Max English Notebook

- 文法語法のポイントまとめ 220ページ

MARCHG文法オリジナル問題集

- 約114ページ → 希望者には早慶上智文法問題集

過去問演習

- 授業で週に1回 + 宿題で週に1回 = 1年間で計30題

Max長文ログ

- 自主課題 フルでこなすと120題

一般入試を知っておこう

2017年度入試動向 まとめ

2017年度入試動向 まとめ

2016年11月27日

関 孝平

資料： ベネッセ 2017年度入試出版者研究会 [11月9日@ベルサール秋葉原]
駿台予備校 駿河大学入試動向研究会 [11月22日@駿台池袋校]

*試験： 第1回ベネッセ駿台マーク模試、第2回駿台全国模試の2つをデータとして
利用。2つの資料で受験が異なる場合は、原則ベネッセのものを優先し、駿
河公立駿河大学については上位層が異なる駿台を引用している。

*用語： 「指数」＝ 前年度の得意層数を100とした数値

A 全体的な動向

① 受験人口の減少

- ・受験生が増えている、既卒生の減少【既卒生はついに10万台を割り切る】
- ・2017年度は前年度よりもやや増
【センター出版者中間発表： 54万人、前年より5500人ほど増】

② 大きな入試科目の変動がなく、ある程度落ち着いていた入試に、

- ・2015年度は新カリキュラムへの移行期であり、特に「基礎科目、専門科目」と2つに
区分けされた理系を中心に、入試科目の変更が相次いだ。
- ・2015年度はセンターでの理系を減らす傾向 → 専大傾向、総合傾向に影響
- ・2021年度の新テスト【大学入学者選抜学力評価テスト、仮称】開始までは、大きな変
動はない。

③ 上位層が総合傾向に転じる傾向にあり、駿河大学の得意層層が見られる。

- ・2015年度入試は新カリキュラム移行期であり総合傾向が目立った。
- ・2016年度は総合傾向に寄る層が見られ、チャレンジ志向が顕著。立系でチャレンジ
志向と総合傾向の二重化が見られた。

④ 立系層の傾向が継続。多くの大学で立系層の人数が増える。

- ・2015年度はよく見られた理系立系に寄る層が見られ、2016年度はついに立系が増
える。今年はその傾向がさらに続く。理系は上げ止まりで、減少傾向が続く。
- ・2015年度新カリキュラムによる理系科目の負担が軽減される。
- ・就職状況の改善も立系層の要因の一つ。

1

- ・文高理低の傾向
- ・学部学科改組、新設の波
- ・入学定員充足率の原則化
- ・グローバル重視
- ・英語外部試験の利用

英語外部試験の利用

外部試験はどんなものがあるか

メインはTOEFL、英検、TEAP、GTEC-CBT

海外進学にも対応できるハイレベルテスト

帰国生は
TOEFLで
勝負できるように

TOEFL

IELTSTM

日本の大学受験に使う外部テスト

TEAP
Test of English for Academic Purposes

GTEC CBT
Global Test of English Communication
Computer Based Testing

ETS TOEFL Junior
COMPREHENSIVE

TOEIC

英検

UNIVERSITY of CAMBRIDGE
ESOL Examinations

Cambridge English

The most valuable range of English qualifications in the world

GTEC for STUDENTS

どう活用されるのか

テストをどう使い、どう判断するかは大学による

出願基準

- 出願するためには定められた点数を超えなくてはならない

得点換算・満点換算

- 外部テストのスコアを英語の点数として換算する

加算（ベースアップ）

- 外部テストのスコアによって、スコアが加算される

書類審査、優遇措置

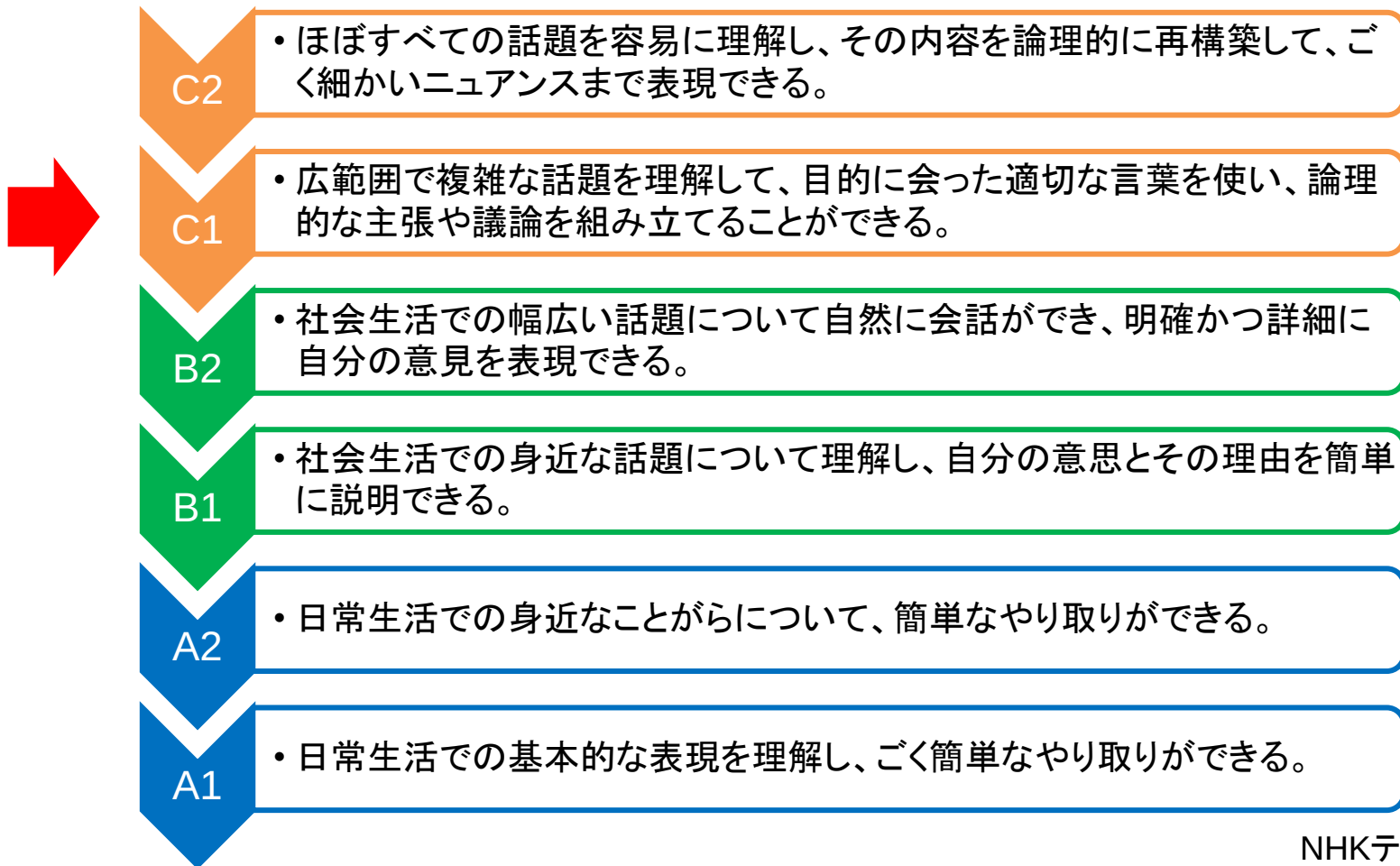
- 合否判定時に利用する



CEFR

Common European Framework of Reference of Language

ヨーロッパ全体で外国語の習得レベルを表すフレームワーク



CEFR

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC CBT	GTEC for STUDENTS	IELTS	TEAP	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEIC/ TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5-9.0				
C1	CAE (180~199)	1級 (2810-3400)	1400		7.0-8.0	400	95-120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160~179)	準1級 (2596-3200)	1250-1399	980 L&R&W 810	5.5-6.5	334-399	72-94	341-352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140~159)	2級 (1780-2250)	1000-1249	815-979 L&R&W 675-809	4.0-5.0	226-333	42-71	322-340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120~139)	準2級 (1635-2100)	700-999	565-814 L&R&W 485-674	3.0	186-225		300-321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (790-1875)	-699	-564 L&R&W -484	2.0				200-380 L&R 120~ S&W 80~

CEFR

日本人高校生のCEFR

		読む	聞く	書く	話す
C2	—				
C1	(1級)				
B2	(準1級)	0.2%	0.3%	0.0%	
B1	(2級)	2%	2%	1%	1.7%
A2	(準2級)	25%	22%	13%	11%
A1	(3-5級)	73%	76%	87%	87%

TEAPとは



- ・ 上智大学と英検協会が開発
- ・ アカデミックな場面での英語運用能力を測定
- ・ 日本の高校生を対象とした大学入試レベルを想定
- ・ 学習指導要領に準拠
- ・ 英検でいえば準2級～準1級程度
- ・ 4技能試験(2技能～4技能で選択)
- ・ 各技能100点満点、合計400点
- ・ 年3回受験可能
- ・ 2016年度より TEAP CBTがスタート



上智大学 TEAP利用型入試



- ・ 2017年度から全学部で4技能を必須としている
- ・ TEAP利用型は、他教科でも文章理解力、論理的思考力など総合的な力を問うものにシフト → 社会では論述問題を含む
- ・ TEAP利用型入試で受験する選択科目が同一の複数学科に出願できる。
- ・ TEAPを複数回受験した場合、**技能別ハイスコアを組み合わせ**て出願できる。

TEAP入試の国語は基本的に上智大学の一般入試とあまり変わりませんねー。

国語科A先生

世界史もあまり変わらないですね。一般的な私大向けの勉強をしていれば解けるかと。論述対策は必要ですけどね。

社会科B先生

日本史は一般入試とは全く傾向が違いますね。教科書の知識を表面的に覚えているだけでは対応できません。特別な対策が必要です。

社会科C先生

上智大学 TEAP利用型入試



- 2015年度より、約2割をTEAP利用型入試とした
- 初年度は基準点が低く、なんなく基準点を超えてしまった
- 2015年度： TEAP、総合グローバルの影響 → 前年度比1.20倍
- 2016年度より基準点が15点ほどUP
- 2017年度から全学部で4技能に移行 → 敬遠される可能性
- 2015年度： 文学部系ではTEAP利用が多く、外国語系統が少ない傾向
- TEAP利用入試の方が一般入試より偏差値1～2低いか(B動向調査)
- TEAP利用型は、他教科でも文章理解力、論理的思考力など総合的な力を問うものにシフト → 400字程度の記述を含む
- 英語ができる生徒に不利か？ …… 英語で差がつかない



GTEC-CBTとは

GTEC CBT

Global Test of English Communication
Computer Based Testing

- Benesseグループで作成
- 日常生活 + アカデミックな素材
- Computer-Based形式
- IRT、CATを採用し、各個人に合わせた出題と測定
- GTEC for Studentsとの接続
- 各技能350点、合計1400点



IRTとCAT

Computerがテストレベルを調整する

IRT (Item Response Theory)

同じ1問でも難易度によって得点が変わってくる

CAT (Computer Adapted Test)

受験者のレベルに合わせて、問題の難易度を調整する



イメージ提供:
Benesse

英検

英検もリニューアル

＜2016年度第一回（6月実施）より変更＞

これまで毎回変動していた合格点が**固定化**！



英語能力を明確な数値で表すことが可能に

この数値が「**英検CSEスコア**」



**英検の成績表に、
英検CSEスコアが登場！**

合格点の固定化でこう変わる

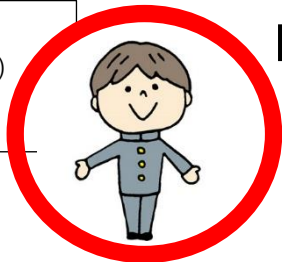
準2級の一次試験の例 ※細かいスコアの算出は推定です。

<2015年まで> 全体問題数の6割程度で合格

A君

R 45/45 + L 8/30
⇒TOTAL 53/75 (約7割)

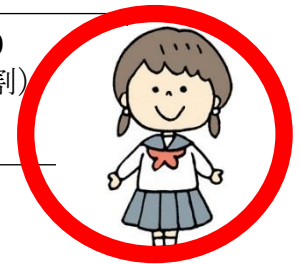
合格！



Bさん

R 23/45 + L 30/30
⇒TOTAL 53/75 (約7割)

合格！



<2016年から> 合格基準スコアに届いていれば合格

※準2級の合格基準スコアは878/1200

A君

R 600/600 + L 160/600
(45/45) (8/30)
⇒TOTAL 760/1200

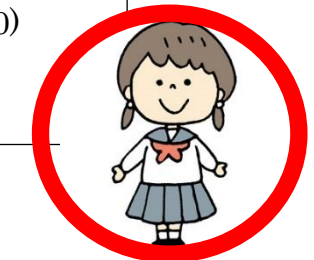
不合格



Bさん

R 300/600 + L 600/600
(23/45) (30/30)
⇒TOTAL 900/1200

合格！



英検スコア 実際にはどうなる

1 技能ごとにスコアが均等に配分されている

＜各級の技能ごとの満点スコア＞

準1級: 750点 2級: 650点 準2級: 600点

2 同じ正答数であっても回次によりスコアは異なる

3 合格するためには、技能のバランスが重要！



TOEFL & IELTS

一般的なイメージは・・・

- 海外の大学へ行くために必要な英語のテスト
- TOEFL ⇒ アメリカ、カナダの大学
- IELTS ⇒ イギリス、オーストラリア、
ニュージーランドの大学



TOEFL

- PCでの試験
⇒Writingはタイピングが必要
／Speakingはマイクで話す
- Readingは700語程度 すべて選択問題
- 月に3～4回の開催
- 内容がアカデミック
- 海外大学出願には60～80くらい必要

IELTSTM

- 試験はPCではなく筆記
⇒タイピングの必要なし
／Speakingは面接形式
- Readingは900語と少し長め
- 月に1, 2回の開催
- 海外大学出願には6.0～6.5が必要

外部試験利用入試リスト

Max Classroom.net
英語外部試験利用入試リスト 2017年2月18日版

Max Classroom.net

英語外部試験利用入試リスト

更新日: 2017年 2月18日

作成者: 関 幸平

協力者: 米倉 晋一、大飼 由佳子

	大学名	学部	入試形式	募集人員	活用方式	活用の内容	ケンブリッジ英検	英検	GTEC CBT	GTEC FS	IELTS	TEAP 4技能	TEAP 2技能	TOEFL iBT	TOEFL Jr. Comp.	TOEIC + SW	TOEIC	国語英検	備考
	愛知大学	全て	一般(センター)		満点換算	基準を満たした場合、センター試験の英語を満点に換算する		準1級			5.5	334		72		1095	785		
	愛知大学	国際コミュニケーション	公募推薦(一般)		出願資格	出願資格として設定		2級			4.0	260		48		790	550	B級	
	愛知学院大学	文	公募推薦(グローバル特待制度)		提出書類	資格を満たした場合、グローバル特待生として選考する		準1級	1080		4.5	280		57			750		
	愛知学院大学	情報科	推薦(愛知県内特)		満点換算	基準に応じて、適性検査の点数を①70%~②100%に換算する		①準2級 ②2級	①700 ②1000	①485 ②675				①25 ②40	①305 ②320	①510 ②790	①350 ②550		・TOEFL Junior Standardも①640、②740が活用可
	愛知淑徳大学	全て	AO(資格・検定部門)		出願資格 総合評価	出願資格として設定 基準に応じて①C、②B、③Aと付けをする	①PET ②③ ③FCE	①2級 ②2級 ③準1級	①700 ②600 ③1200	①485 ②600 ③700	①4.5 ②4.5 ③5.5			①25 ②48 ③61	①305 ②320	①510 ②790	①350 ②550	①C級 ②B級 ③A級	・全国商業高等学校資格①級も活用可 ・全国工業高等学校リスキング英検①級、②級も活用可
	青山学院大学	国際政治経済(国際コミュニケーション)	一般(B方式)	10	出願資格 英語なし	出願資格として設定 試験では英語以外の科目で合否判定をする		準1級			5.0			57			560		・TEAP CBTは除く
	青山学院大学	総合文化政策	一般(B方式)	55	出願資格 英語なし	出願資格として設定 試験では英語以外の科目で合否判定をする		2級	850		4.0		100	42			500		・TEAP CBTは除く
	青山学院大学	地球社会共生	一般(B方式)	30	出願資格 英語なし	出願資格として設定 試験では英語以外の科目で合否判定をする		2級	1100		4.5		110	50			500		・TEAP CBTは除く
	青山学院大学	経済(経済、現代経済デザイン)	一般(B方式、C方式)	計15	出願資格 満点換算	スコアを英語の満点に換算する 英語の個別試験は行わない							○						・満点換算表は公表されていない?
	青山学院大学	文(英米文)	一般(C方式)		出願資格 英語なし	出願資格として設定 試験では英語以外の科目で合否判定をする						280							・各技能65点以上 ・TEAP CBTは除く
	青山学院大学	文(英米文)	自己推薦		出願資格 総合評価	出願資格として設定 試験では英語以外の科目で合否判定をする						300		68			730		・TEAP CBTは除く
	青山学院大学	地球社会共生	自己推薦		出願資格 総合評価	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		2級			4.5-5.0	226		50-54			500-550		・資格により基準が異なる ・TEAP CBTは除く
	市川大学	経営 国際関係 都市創造	AO(グローバル人材育成)	計23	出願資格 総合評価	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		2級	880	800				52			500		
	市川大学	経営 国際関係 都市創造	公募推薦	計135	出願資格	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		2級	880	800				52			500		・TOEIC Bridge 155も可
	いわき明星大学	全て	一般(センター利用)		満点換算	基準を満たした場合、一般試験の場合は90点、センター試験利用の場合は180点と満点換算する		2級	1000	730				42		790	670		
	エリザベト音楽大学	全て	一般		試験免除	基準を満たした場合、個別の試験の英語を免除する			450			90	40				400		
	お茶の水女子大学	AO(新フロンティア)	計20	優遇措置	合否判断の際に優遇する(詳細確認を要)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		・該当資格を持っていないでも受験可
	お茶の水女子大学	文系(人文学、人間社会学、書文化) 理(生物、情報科)	推薦		優遇措置	合否判断の際に優遇する(詳細確認を要)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		・該当資格を持っていないでも受験可
	お茶の水女子大学	生物科(人文学系)	推薦		優遇措置	合否判断の際に優遇する(詳細確認を要)		○	○	○	○	○	○	○		○	○		・該当資格を持っていないでも受験可
	学習院大学	国際社会	一般(B方式)	20	満点換算	基準点に応じて①100点、②120点、③140点、④160点、⑤180点、⑥200点に換算する 個別試験の英語は免除となり、英語以外の科目の筆記試験で受験する	①PET ②③ ③④ ④⑤ ⑤FCE ⑥CAE	①2級 ②2級A ③3級 ④3級 ⑤準1級 ⑥1級	①700 ②800 ③950 ④1030 ⑤1100 ⑥1400	①7.0 ②6.0 ③5.5 ④5.0 ⑤4.5 ⑥	①210 ②220 ③255 ④270 ⑤290 ⑥390	①42 ②48 ③54 ④62 ⑤70 ⑥100	①650 ②700 ③840 ④910 ⑤1030 ⑥1300						・TEAPを複数回受験した場合は、各技能の最重点の合計
	学習院大学	国際社会	AO入試	20	出願資格 総合評価	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		準1級	1000	750	5.0	260		57		850	650		・TEAPを複数回受験した場合は、各技能の最重点の合計
	学習院大学	国際社会	公募推薦	若干名	出願資格 総合評価	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		2級		580		210		45			500		・TEAPを複数回受験した場合は、各技能の最重点の合計
	学習院大学	経済	公募推薦	若干名	出願資格 総合評価	出願資格として設定 総合評価として合否判定をする		2級	850	580	4.5		110	45			500		
	鹿児島大学	全て	一般 推薦(Ⅱ)		満点換算	基準を満たした場合、センター試験の英語を満点に換算する	FCE	準1級	1250		5.5	334		72	341	1095			